



# 初級レベル研修

## レイヤー2スイッチ選定セミナー

---

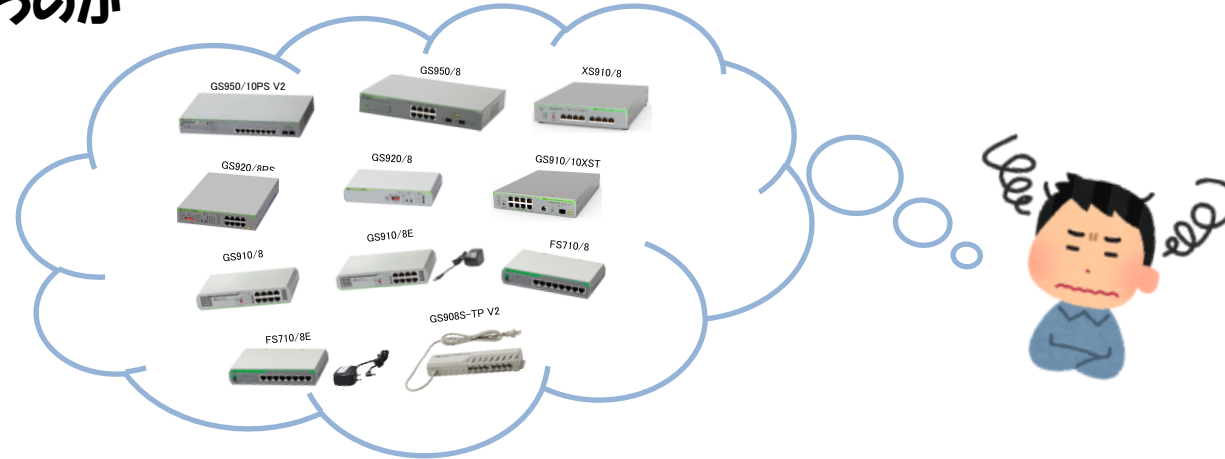
オンラインセミナー  
ウェビナー



一般社団法人 情報通信設備協会

# L2エッジスイッチの選定ポイント

なんでも良いと言われたけれど、種類が多くてどれにしたらいいのかわからない  
いったい何が違うのか



L2エッジスイッチ(お客様の環境で末端に使用されるスイッチ) をご選定して戴く際は、以下の点がポイントです！

- ①何を接続するのかを確認する！
- ②接続する機器が何台あるのか確認する！
- ③スイッチ性能を確認する！
- ④必要機能を確認する！

\* 特殊な機能を使わないのなら、選定ポイントは①～③の**たったの3項目**です！

\* 特殊な機能はお客様にとって、とても有効な機能になる事もあります  
本セミナーでは、よく使われる機能を紹介します

# レイヤー2スイッチ選定セミナーの内容

①何を接続するか確認する (4P)

②接続する機器が何台あるのか確認する (6P)

③スイッチの性能を確認する (13P)

④必要機能を確認する (17P)

⑤レイヤー2エッジスイッチの選定例 (24P)

Appendix : キャンペーンのご案内など (30P)



# ①何を接続するか確認する

---

# 何を接続するのか確認する

最近、ネットワークにつながる機器が多様化しています。パソコンやプリンターだけではなく、無線アクセスポイントやネットワークカメラも良く接続されます。また、IoTデバイスなるものが現れて、温度センサーや人感センサーという機器までネットワークにつながったりします。スイッチ選びには、まず**何がつながるのかを確認**します。

## ■ 確認のポイント

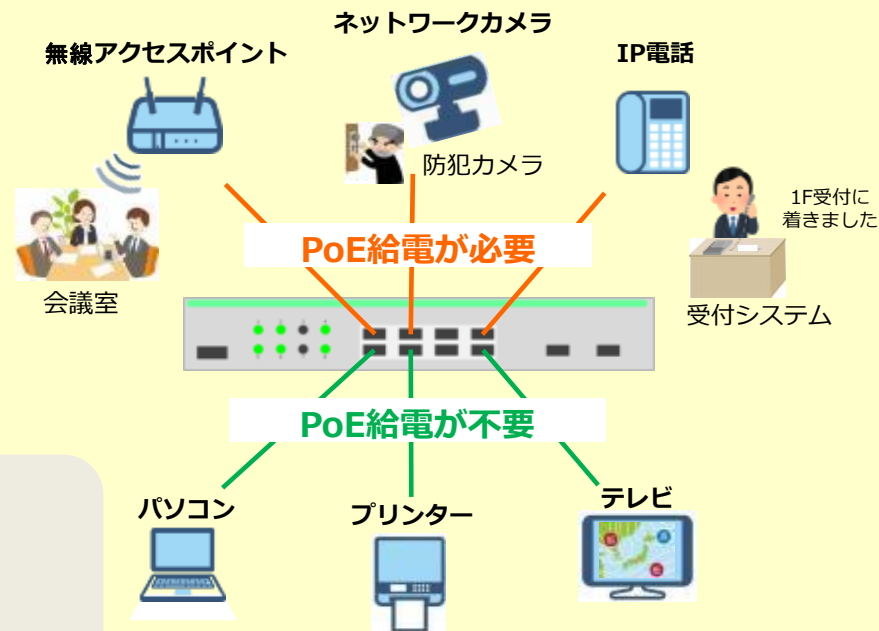
◆ スイッチに「**PoE給電が必要か否か**」を確認

※ PoE給電が必要な機器

- ✓ 「無線アクセスポイント」
- ✓ 「ネットワークカメラ」
- ✓ 「IP電話」
- ✓ 「IoTデバイス(PoE受電が必要な機器の場合)」

**ポイント!**

- ◆ PoE給電が必要な機器がない場合  
⇒ 普通のスイッチを選ぶ
- ◆ PoE給電が必要な機器がある場合  
⇒ PoE対応スイッチを選ぶ





## ②接続する機器が何台あるのか確認する

---

# 接続する機器が何台あるのか確認する

ネットワークにつながる機器に無線LAN対応の製品が多数出てきています。パソコンやプリンターの台数分のケーブルが必要ない場合も多い、でも無線でつなげられるのに、ケーブルもつなぎたいという顧客もいる。

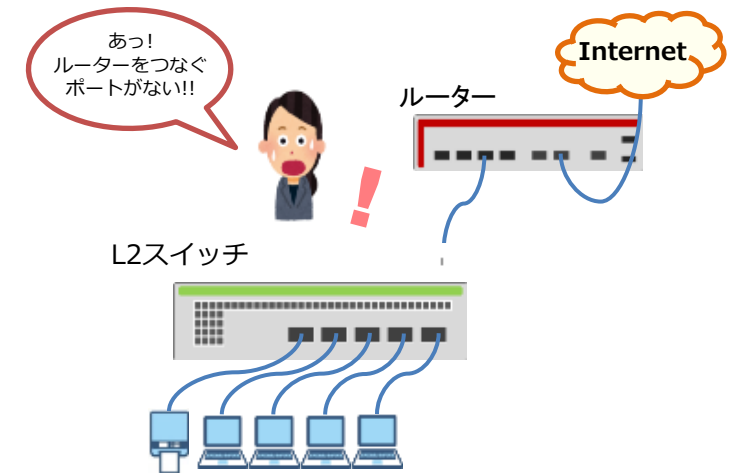
## ■ 確認事項

- ◆スイッチ選びでは、つながる機器が何台あるかを、常時つながる機器の台数だけではなく、一時的に接続される機器も含めて、**最大のポート数がどれだけ必要かを確認**

### NOTE

よくありがちなのが、端末台数だけでポート数を選んで、インターネットに繋げるためのルーターを接続するポートやカスケード接続のポートを数え忘れてしまう。。

**\*念のためポート数は余裕をもって選定しましょう！**



# 1. 普通のスイッチを選ぶ場合

## ■ 端末の接続台数を確認

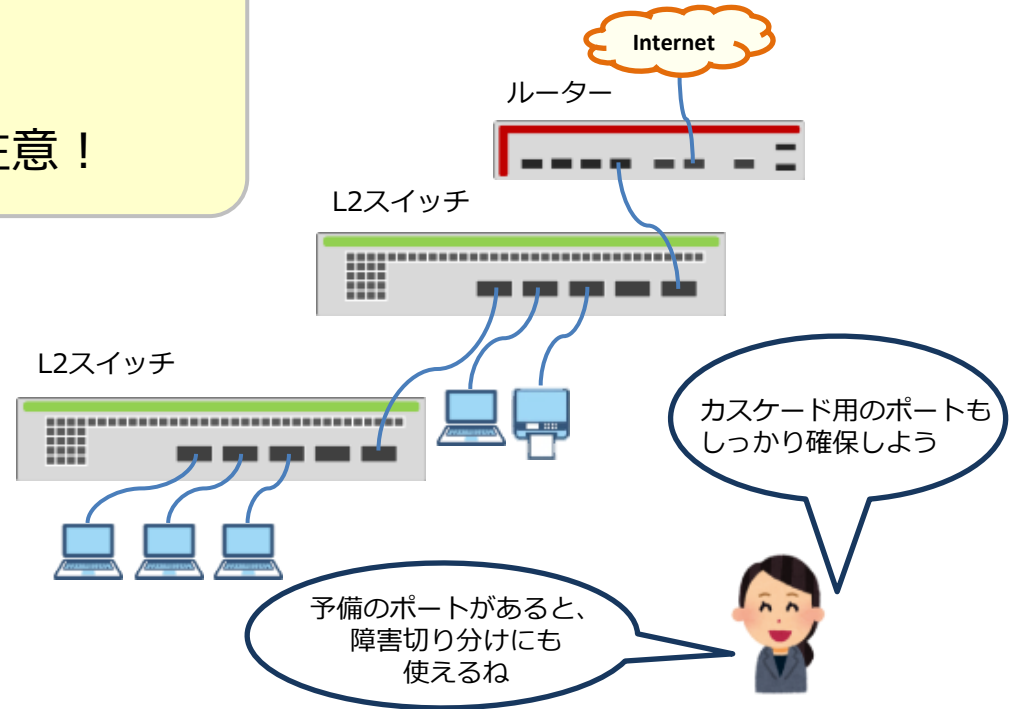
### 最大接続数(端末等の台数)

- 「1～3台まで」 ⇒ 5ポートスイッチを選定
- 「1～6台まで」 ⇒ 8ポートスイッチを選定
- 「7～14台まで」 ⇒ 16ポートスイッチを選定
- 「15～22台まで」 ⇒ 24ポートスイッチを選定
- 「23～46台まで」 ⇒ 48ポートスイッチを選定

※カスケード接続に必要なポート数の数え漏れに注意！

5ポートのスイッチは…  
離れた場所にPC2台だけ、デジタルサイネージ用、保守メンテ用など、特殊な利用の時に選択します

事務室での利用は8ポートスイッチを選びます





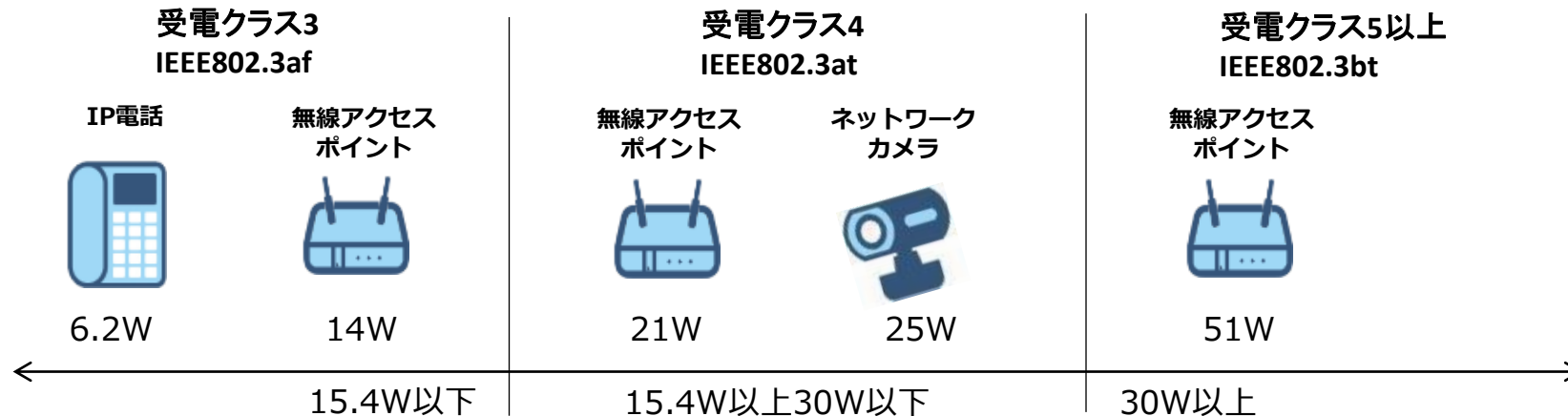
## 2. PoE対応スイッチを選ぶ場合

PoE給電が必要な場合、ポート数だけでなく給電能力によって選ぶ必要があります。

### ステップ1：受電が必要な機器のPoE給電時の最大消費電力を確認

- 「**受電クラス3**」 「**IEEE802.3af**」 の記載がある機器だけにPoE給電する場合は、**1ポートあたり最大15.4W給電出来るPoEスイッチを選定**
- 「**受電クラス4**」 「**IEEE802.3at (PoE+)**」 の記載がある機器にPoE給電する場合は(1台でも含まれる場合、将来的な拡張がある場合も含む)、**1ポートあたり最大30W給電出来るPoE+スイッチを選定**
- 「**受電クラスが5以上**」 「**IEEE802.3bt (PoE++)**」 の記載がある機器にPoE給電する場合は(1台でも含まれる場合、将来的な拡張がある場合も含む)、**1ポートあたりの最大給電可能電力が30Wより大きいPoE++スイッチを選定**

スイッチの  
ポートあたり  
「最大給電可能電力」  
を確認



## 2. PoE対応スイッチを選ぶ場合

### ステップ2：接続する受電機器全てのPoE給電時の最大消費電力の合計値を確認

最大消費電力の合計値の計算方法には、以下の3つがあります。

方法1：受電機器のベンダーが「PoE給電時の最大消費電力」を公開している場合はそのワット数で計算

方法2：受電クラス3の機器は1台あたり15.4W、受電クラス4の機器は1台あたり30Wで計算

方法3：受電機器の最大消費電力に、クラス毎のケーブル損失(クラス3=2.45W、クラス4=4.50W)を加算して計算

方法1～方法3のいずれかで求めた最大消費電力の合計値から、アライドテレシスのスイッチを選定します。

- 「61.6Wまで」 ⇒ AT-GS920/8PS
- 「75Wまで」 ⇒ AT-GS950/10PS V2
- 「90Wまで」 ⇒ AT-IS130-6GP
- 「120Wまで」 ⇒ AT-IE220-6GHX
- 「124Wまで」 ⇒ AT-SH230-10GP、AT-x230-10GP、AT-IE210L-10GP
- 「150Wまで」 ⇒ AT-FS980M/9PS
- 「185Wまで」 ⇒ AT-GS950/18PS V2、AT-GS950/28PS V2
- 「240Wまで」 ⇒ AT-SE240-10GHXm、AT-x240-10GHXm、AT-IE220-10GHX
- 「247Wまで」 ⇒ AT-SH230-18GP、AT-x230-18GP、AT-IE210L-18GP
- 「250Wまで」 ⇒ AT-FS980M/18PS
- 「370Wまで」 ⇒ AT-SH230-28GP、AT-x230-28GP、AT-GS950/52PS V2
- 「375Wまで」 ⇒ AT-FS980M/28PS、AT-FS980M/52PS、AT-FS980M/28DP
- 「740Wまで」 ⇒ AT-x230-52GP、AT-GS980M/52PS

※741W以上の製品選定では、レイヤー3スイッチのラインナップから検討する必要があります。

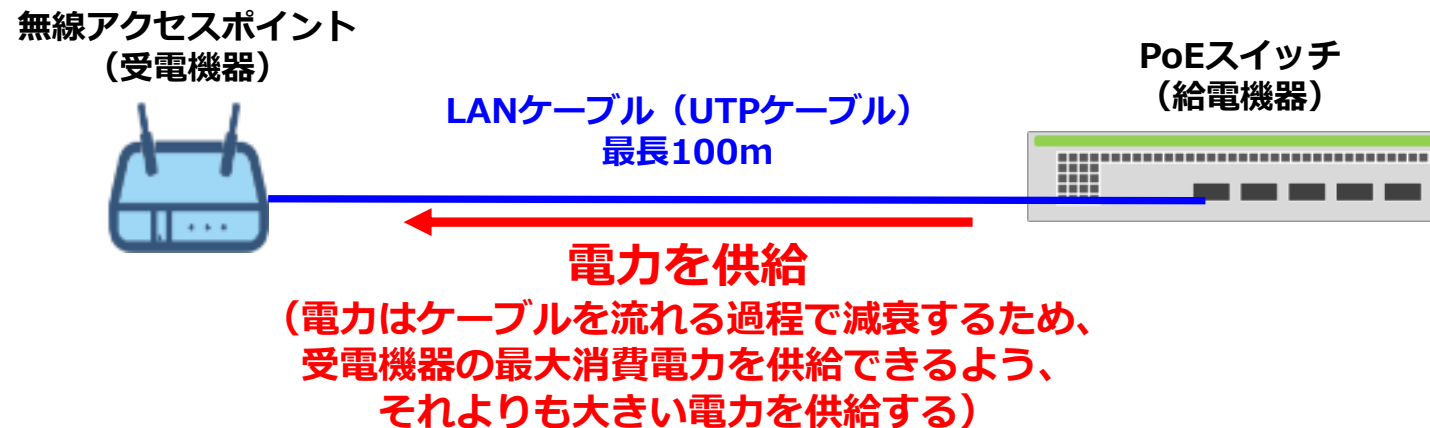
スイッチ装置全体の  
「最大給電可能電力」  
を確認

受電機器全てのPoE給電時の最大消費電力の合計値が、スイッチ装置全体の最大給電可能電力を下回ればOKです！

**受電機器のPoE給電時の最大消費電力合計値 < 最大給電可能電力（スイッチ装置全体）**

# (参考：方法1) PoE給電時の最大消費電力とは

- ◆ 最大消費電力
  - ・ 受電機器が稼働中に必要とする電力の最大量
- ◆ PoE給電時の最大消費電力
  - ・ ケーブルでの電力の減衰を考慮し、受電機器に最大消費電力を供給するためにPoEスイッチから供給される電力



- ◆ 受電機器のベンダーが「PoE給電時の最大消費電力」を公開している場合は、そのワット数を合計してください。

(例) アライドテレシスの無線LANアクセスポイントにおいては以下の電力となります。

① AT-TQ6702 GEN2 の場合

最大消費電力：24W、 PoE給電時の最大消費電力：26.53W

② AT-TQ1402 の場合

最大消費電力：12W、 PoE給電時の最大消費電力：14.1W

## 2. PoE対応スイッチを選ぶ場合

### ステップ3：受電が必要な機器と不要な機器の総数を確認

最大接続数(端末等の台数)

- 「1台のみ」 ⇒ PoEインジェクターを選定可
- 「1～6台まで」 ⇒ 8ポートPoE対応スイッチを選定
- 「7～14台まで」 ⇒ 16ポートPoE対応スイッチを選定
- 「15～22台まで」 ⇒ 24ポートPoE対応スイッチを選定
- 「23～46台まで」 ⇒ 48ポートPoE対応スイッチを選定

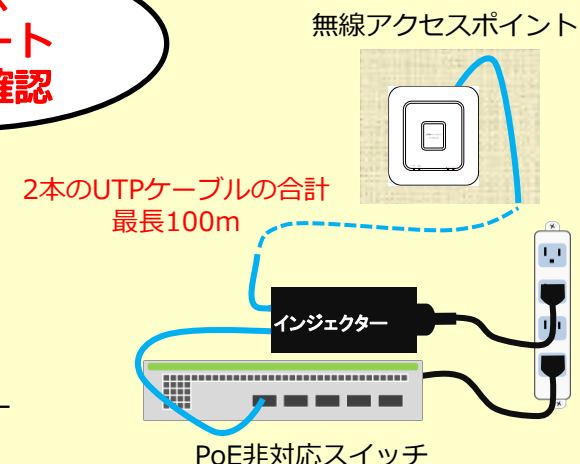


PoE+インジェクター  
(AT-6101GP)



PoE++インジェクター  
(AT-7101GHTm)

最後に、  
接続ポート  
総数を確認



### ステップ4：ステップ1～ステップ3の順で選定しても該当製品が無い場合

最大給電可能電力（スイッチ装置全体）のワット数が大きい製品から選定します。

NOTE

ポート数の多い製品を選択する場合、ポート数の少ない製品を複数台選択するよりも**価格が高くなる場合があります**ので、ご注意ください。

NOTE

PoE給電が必要な機器とPoE給電が不要な機器が混在し利用するポート数が多い場合、PoE給電が可能なスイッチと普通のスイッチを分けて運用することをお勧めします。



## ③スイッチの性能を確認する

---

# スイッチ性能を確認する

## ■ 確認事項

1. 通信速度を決める
2. スイッチングファブリックを確認する

### NOTE

「通信速度」や「スイッチングファブリック」の値は性能の違いとして同等製品を比較する数値となります。



# 1. 通信速度を決める

現在、一般的に出荷されているパソコンのLAN接続ポートは1Gbpsの製品が多く、通信効率を考えるとスイッチも1Gbpsに対応できる製品を選ぶのが一般的です。

## ■選定ポイント

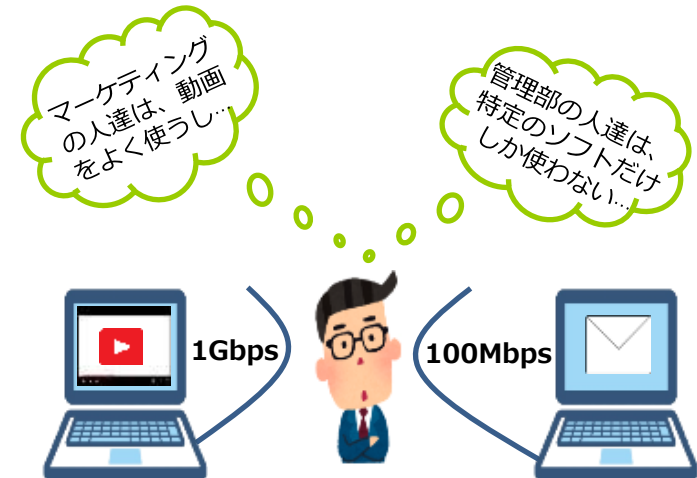
1. 使用するパソコンの通信速度と同じ通信速度を持つ製品を選定
2. 無線アクセスポイントを接続する場合は、1Gbps（無線LAN以上）の通信速度を持つ製品を選定  
ただし、Wi-Fi6対応の無線アクセスポイントを接続する場合は、1Gbpsより速い通信速度（2.5Gbps/5Gbps/10Gbps）を持つスイッチの選定も検討

### NOTE

利用状況によって安価な製品を選ぶこともできます。

- 動画や画像、100Mバイト以上の大きなファイルを頻繁に通信する環境・・・1Gbpsを選択
- 上記以外の通信・・・100Mbpsを選択

※ 大きなデータを頻繁にやり取りする環境でない限り、100Mbpsの通信で問題ありません（無線アクセスポイント接続時も同様）



## 2. スイッチングファブリックを確認する

ポート数が同じ、対応速度が同じ場合に性能の違いを見ることができるのが、スイッチングファブリック(スイッチ内部で同時に処理できる通信量)の数値です。

### ■選定ポイント

- ◆ 比較対象のスイッチングファブリック値が大きい製品を選定

#### NOTE

ノンブロッキングスイッチ(=データの転送に遅延が発生しないスイッチ)を選定する

ノンブロッキングスイッチか、ブロッキングスイッチ(=データの転送に遅延が発生するスイッチ)かは、スイッチングファブリック値で決まる

(例) 1Gbpsのポートを8ポート持つスイッチの場合は、  
16Gbps(=1Gbps×8ポート×2)以上のスイッチングファブリック値を持つ  
スイッチがノンブロッキングスイッチとなる

#### NOTE

製品を入れ替える場合など、スイッチングファブリック値が小さい  
製品に入れ替わると通信が遅くなる可能性があります。







## ④ 必要機能を確認する

---

# 1. 冷却ファンの有無

冷却ファンがついている製品は、ファンの回転音が発生します。  
スイッチ製品はデスクトップパソコンのように大きなファンを付けられないため、小型で風量を出すファンを採用します。そのため、デスクトップパソコンのファンよりも大きな音が発生します。

## ■ 選定ポイント

- ◆ 机周りにスイッチを設置する場合には、ファンを搭載していない「**ファンレスの製品**」を選定

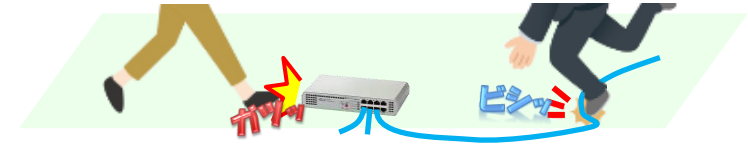
※ 温度環境が過酷な場合は、製品の対応温度を確認し製品を選びます  
※ 事務室以外やラック収納の場合はファン付の製品でも問題ありません



## 2. 壁面やラックへの設置

※スイッチは精密機器なので、ラック内の収容をお勧めしますが、壁面やデスクサイドに設置する場合には、壁設置ブラケットやマグネットの利用をご提案してください。

※床面への直置きは、踏みつけやケーブルへの引っ掛かりなど、故障や通信断の原因となりますので出来るだけ避けて下さい。



### ■ 選定ポイント

1. 壁面やパーティションに固定する場合、「壁設置ブラケット対応製品」を選定  
※壁設置ブラケットを壁面にねじ止めして設置します
2. 磁石が装着可能な壁面やデスクサイドに設置する場合、「マグネットキットやマグネット付製品」を選定  
※状況によって設置場所を変更する場合などに有効です
3. 19インチラックに収容する場合には、「ラックマウントキット対応製品」を選定

壁設置ブラケット



マグネットキット



装着例

マグネットシート



装着例

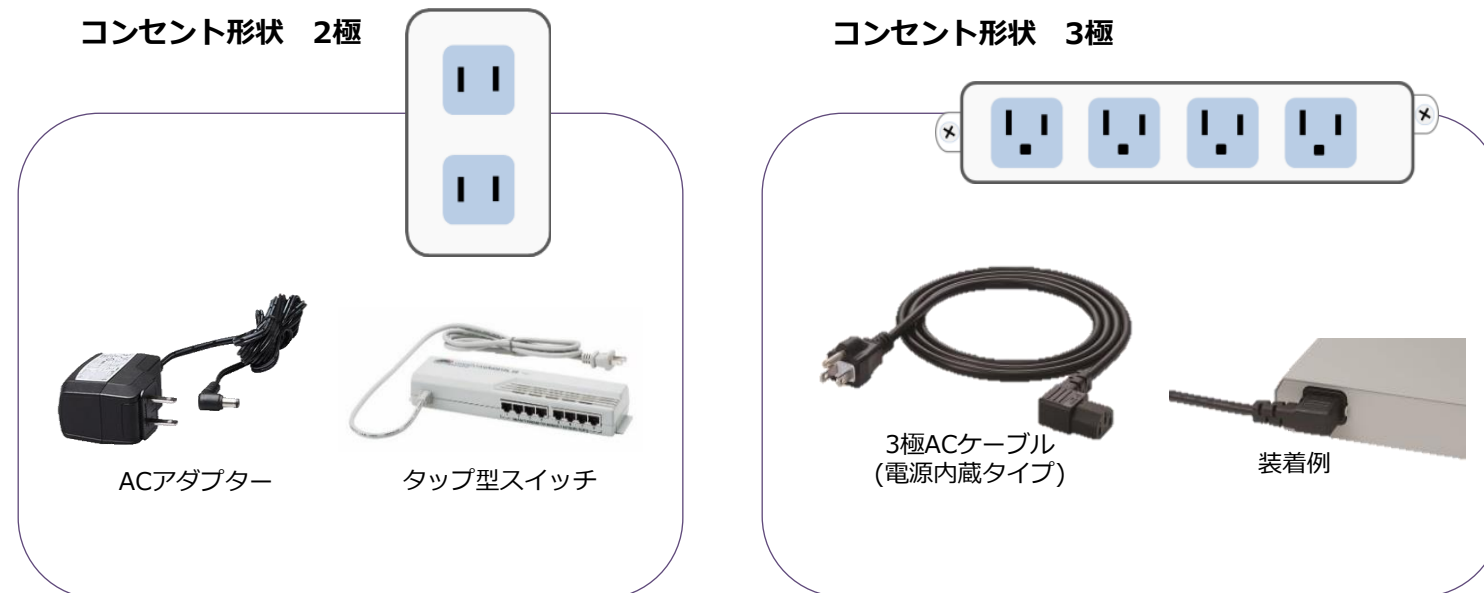
ラックマウントキット



### 3. 電源タイプ <外部電源（ACアダプター）と電源内蔵>

外部電源とは、「ACアダプター」タイプの製品を指します。  
AC→DC変換する部分が筐体の外にあるため外部電源と表現しています。

ACアダプタータイプの製品は電源プラグが2極のため、3極コンセントが無い環境の場合に選択します  
※タップ型スイッチは電源内蔵タイプですが、電源プラグが2極の製品が多いので、タップ型スイッチも選択可能です

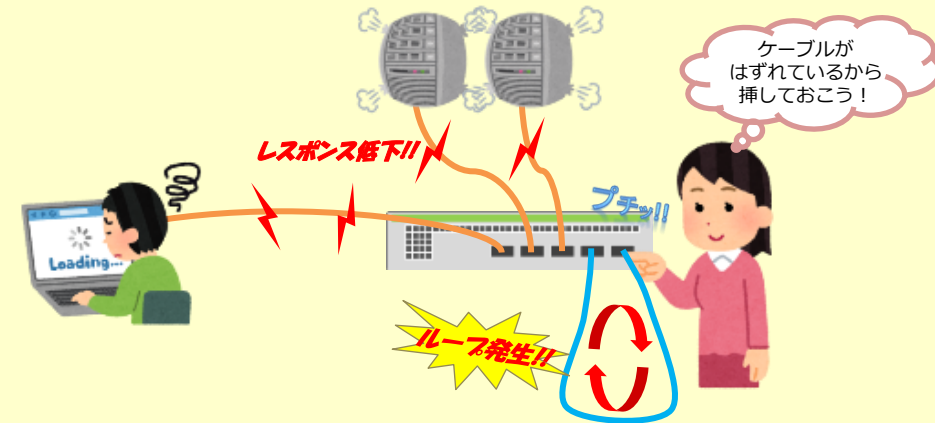


## 4. ループガード

ループ状態のネットワークを構築できる特殊な設定をしていない環境では、ケーブルの接続ミスなどによるネットワークのループ状態が発生すると、通信が不安定になったり、ネットワークがダウンしたりします。ループ状態を判断し、ネットワークのループ状態を防ぐ機能が「**ループガード機能**」です。予備のポートや予備のケーブルがあると発生しがちです。ネットワークの保守を行う方が経験するトラブルの上位に位置づけられています。

### ■ 選定ポイント

※ 保守メンテの稼働やトラブルを少しでも削減したい場合には「**ループガード機能対応製品**」を選定



#### NOTE

他社製品では**ループをお知らせするだけの製品**があります。  
**お知らせだけではトラブル回避にならない**ので、アライドテレシスの「ループになっているポートの通信を停止する」**ループガード機能付製品を選定**してください。

# 5. VLAN(Virtual LAN)

お客様から「VLAN機能付き」で依頼がきたら、VLANの種類を確認してください。  
VLANにも種類があり、製品によりできる内容が異なります。

## ■VLANとは

スイッチの設定によってLANネットワークを分ける機能です

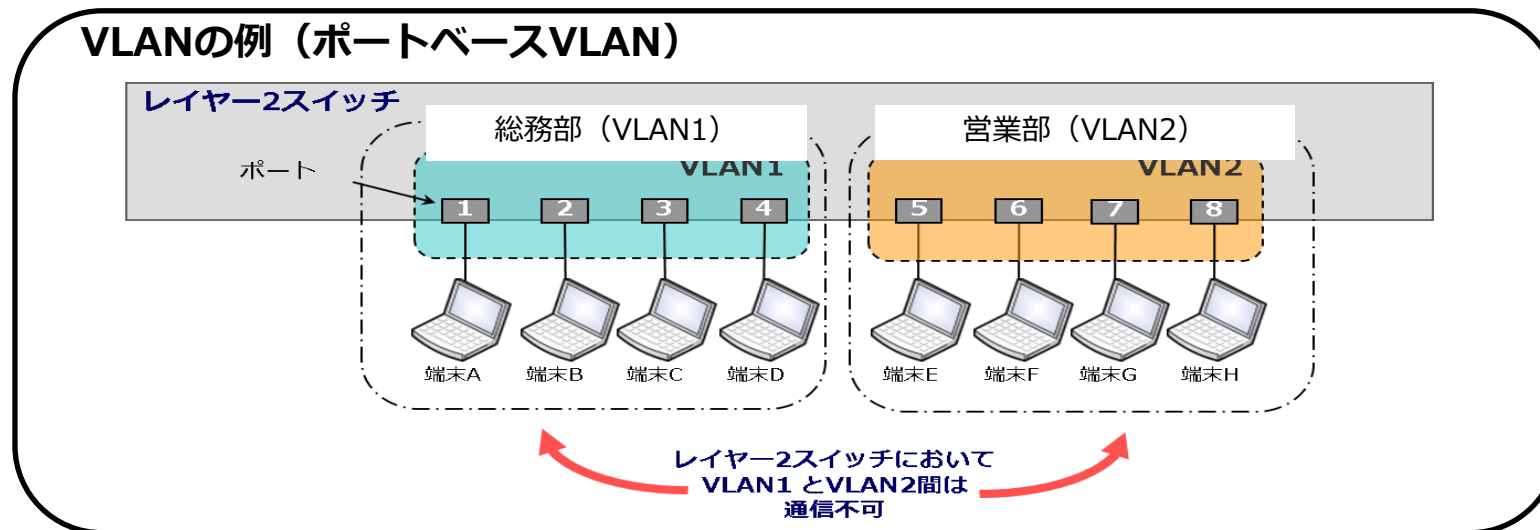
これにより各ネットワークグループ間で通信をさせないことが出来ます。

企業や学校など部署間ネットワークのセキュリティを保ちたい場合に利用します。

※VLANを詳しく知りたい方は「レイヤー2スイッチ基礎セミナー」で紹介しています。受講をご検討ください。

## ■選定ポイント

LANを分けたい場合はVLAN機能を搭載したスイッチを選定



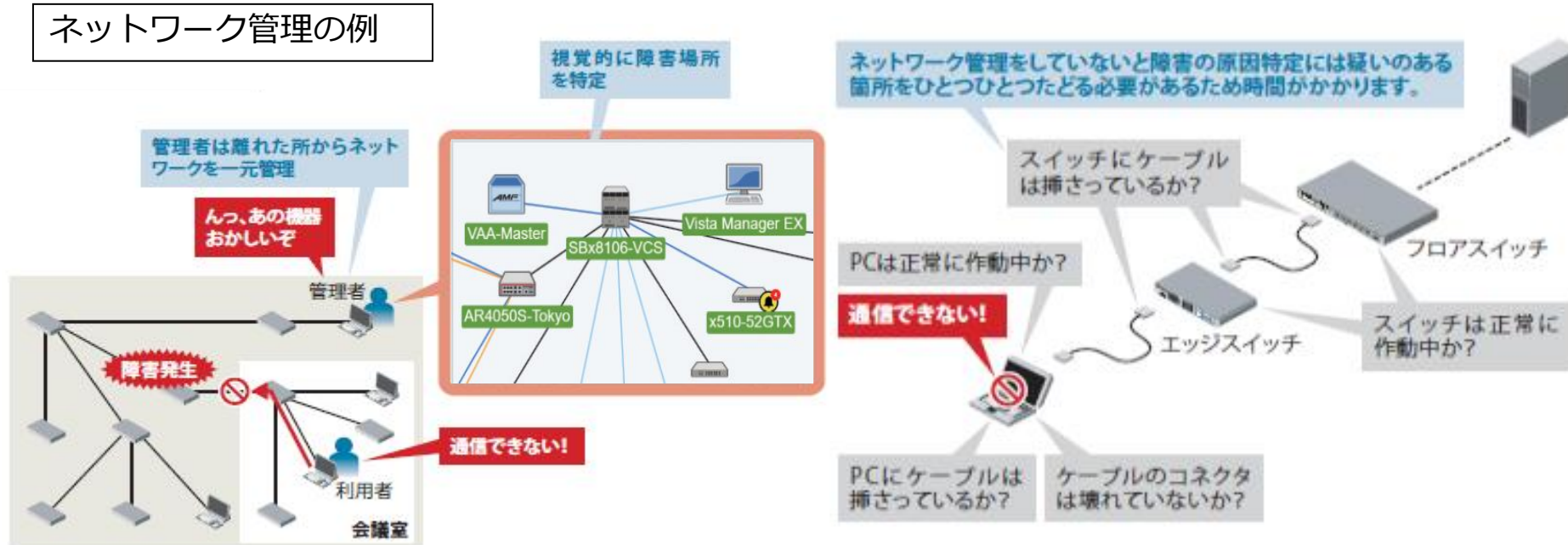
# 6. SNMP (ネットワーク管理機能)

## ■ SNMP (ネットワーク管理) とは

- ✓ スイッチ本体やスイッチのポート状態 (パソコンがつながっている/いない)、トラフィック量、エラーパケット数等、様々な情報を監視・管理することができる機能
- ✓ 遠隔で状態管理したり、ネットワークマネジメントソフト等で一括管理が可能

## ■ 選定ポイント

お客様から指定がある場合や遠隔でネットワーク機器の状態を管理したい場合は、「**インテリジェントスイッチ (SNMP機能を搭載したスイッチ)**」を選定





## ⑤ レイヤー2エッジスイッチの選定例

---



# レイヤー2エッジスイッチの選定例

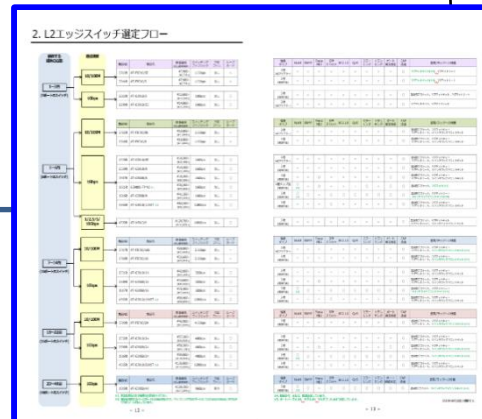
スイッチの選定は「レイヤー2スイッチ選定ガイド」の選定フローから製品をお選びいただけます

## 例) 普通のスイッチを選定する場合

- ・ 接続端末20台、1Gbps、電源タイプ3極、ポート固定設定機能があるスイッチを選ぶ
- ※VLAN機能、SNMP（ネットワーク管理機能）は不要
- ⇒ 上記条件では、AT-GS920/24が選定されます。



※レイヤー2スイッチ選定ガイドは、  
パートナークラブサイトからダウンロード頂けます。  
<https://npa.allied-tesesis.co.jp/login>  
ご利用にはユーザーIDとパスワードの入力が必要です。



# レイヤー2エッジスイッチの選定例

例) PoE対応スイッチを選定する場合

- 無線アクセスポイント「AT-TQ6702 GEN2」2台、PC4台接続、VLAN機能、SNMP (ネットワーク管理機能) があるスイッチを選ぶ

「AT-TQ6702 GEN2」⇒ PoE給電時最大消費電力26.53W

受電機器の合計最大消費電力 ⇒ 26.53W×2台 = 53.06W

⇒ 上記条件では、AT-GS950/10PS V2が選定。2台のアクセスポイントへの給電も問題なし！

クラス4以下の受電機器が1台の場合は、PoE+インジェクターがお選びいただけます。

通信速度	商品NO	製品名	最大供給電力	標準価格 (税込標準価格)
1Gbps	1317R	AT-6101GP	33W	¥31,000- (¥34,100-)

受電機器  
一台あたりの  
最大消費電力

30W以下  
クラス3/  
クラス4

IEEE802.3af  
(PoE)

IEEE802.3at  
(PoE+)

受電機器の  
合計最大  
消費電力

61.6Wまで

75Wまで

124Wまで

接続される  
端末の  
総台数

1~6台

1~6台

1~6台

通信速度 (ポート数)	製品NO	製品名	最大 供給電力	最大同時給電可能ポート数		
				7.0W	15.4W	30.0W
1Gbps (8ポート)	3807R	AT-GS920/8PS	61.6W	8	4	2
1Gbps (8ポート)	4627R	AT-GS950/10PS V2	75W	8	4	2
1Gbps (8ポート)	3524R	AT-SH230-10GP	124W	8	8	4
1Gbps (8ポート)	1436R	AT-x23				

スイッチング ファブリック	冷却 ファン	ループ ガード	電源 タイプ	VLAN	SNMP
16Gbps	なし	○	3極 (電源内蔵)	○ ※3	-
20Gbps	なし	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○
40Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○
40Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○

3. PoE対応スイッチ選定フロー

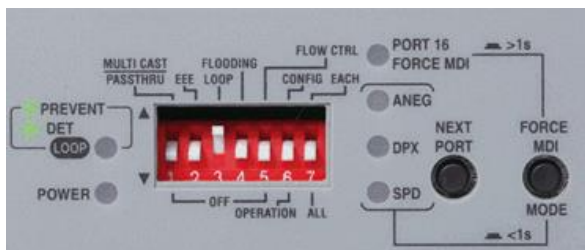
# GS920 Series



AT-GS920/8  
AT-GS920/16  
AT-GS920/24



AT-GS920/8PS



DIPスイッチ、コンフィグレーションスイッチ

- **DIPスイッチで簡単設定**
  - CLIやGUIでの操作による設定が必要なループガード機能やパケット透過機能などを、DIPスイッチによって簡単に設定することが可能です。
- **マニュアル設定機能**
  - オートネゴシエーション機能に加えて、コンフィグレーションスイッチで、10/100/1000Mbps、Full/Half Duplex、フローコントロールON/OFFなどの手動設定が可能のため、異種ベンダー間接続の問題も解決できます。
- **ループガード**
  - 接続ミスなどで発生するネットワークのループを検出し、該当ポートの通信を遮断するループガード（LDF検出）に対応しています。  
ループ収束後は自動的に通信を復旧させます。
- **マルチキャストパケット透過機能**
  - DIPスイッチの設定で、BPDU/EAPパケットを含むマルチキャストパケットの透過/非透過を切り替えることができます。
- **フラディングモード**
  - 1つのポートで受信したフレームを受信ポート以外のすべてのポートへ転送するため、パケットのキャプチャーなどに利用することができます。
- **ファンレス設計、50℃対応**
  - 動作時温度50℃に対応し、高温環境下への設置が可能です。またファンレス設計で動作音が発生しないため、設置場所を選びません。

# GS950 Series



AT-GS950/8  
AT-GS950/16  
AT-GS950/24  
AT-GS950/48



AT-GS950/10PS V2  
AT-GS950/18PS V2  
AT-GS950/28PS V2  
AT-GS950/52PS V2

5年保証



- **Webマネージメントによる簡単設定**
  - Web GUIを実装し、Webブラウザを利用した保守・管理が可能です。
- **ループガード**
  - 接続ミスなどで発生するネットワークのループを検出し、設定した動作（ポートディセーブルなど）を自動実行するループガードに対応しています。
  - 本製品はLDF検出をサポートしており、特殊フレームの送受信によりループを検出します。
- **多彩なVLAN**
  - IEEE 802.1Q準拠のタグVLANとポートベースVLANをサポート。さらにマルチプルVLANにも対応しているので、セキュリティを必要とするネットワークにも最適です。
- **IEEE 802.1X認証機能対応**
  - 認証モードとしてSingle Host/Multiple Hostに対応し、認証方式はMD5/TLS/TTLsをサポートしています。付加機能としてIEEE 802.1XダイナミックVLANをサポートし、より強力かつ柔軟なユーザー認証環境を実現します。
- **動作環境温度45℃/ファンレス設計**
  - 動作時温度45℃に対応し、高温環境下への設置が可能です。※
  - AT-GS950/8, AT-GS950/16, AT-GS950/24, AT-GS950/10PS V2はファンレス設計なので、動作音が発生しないため、設置場所を選びません。
- **PoE+ (IEEE 802.3at) に対応**
  - 本シリーズのPoEスイッチは、1つのポートで最大30Wの電力を供給します。

※AT-GS950/10PS V2の動作環境温度は0~40℃です。



NEW



AT-SE240-10GTXm

NEW



AT-SE240-10GHXm

※ AMFバーチャルリンク・クロスリンクに対応せず、AMFリンク一本のみ接続可能な、ネットワークエッジ向けに機能を限定したAMF Plusメンバー機能

- **ネットワークインフラのユニファイド化**
  - AMF Plusメンバー(エッジ※) 機能に対応しています。
- **5Gマルチギガビットに対応**
  - 従来のUTPカテゴリ 5eのケーブルをそのまま使用することができる、マルチギガビットレートのインターフェースを全ダウンリンクポートに搭載しています。上位カテゴリのケーブルを新たに購入・敷設することなく、2.5GBASE-Tまたは5GBASE-Tの通信が可能になります。
- **PoE++ (IEEE802.3bt)をサポート**
  - SE240-10GHXmはポートあたり最大90Wの大容量PoE給電が可能なPoE++ (IEEE 802.3bt) にも対応します。PoE++給電により、無線LANアクセスポイントやIPカメラなど従来のPoEデバイスに加え、センサーやLED照明など、新しい各種IoTデバイスへの給電も可能とします。
- **充実したセキュリティ機能**
  - **強固な認証機能をサポート**  
同一ポート上でIEEE 802.1X認証/Web認証/MACアドレスベース認証の混在を可能とするTri-Auth機能や、同一ポート上でユーザーごとに別々の認証方式で認証し、かつ異なるVLANを動的に付与するマルチプルダイナミックVLAN機能など様々な認証機能に対応し、柔軟な認証環境を実現します。
  - **多種多様なセキュリティ機能の搭載**  
通信内容を暗号化し、安全なリモートアクセス環境を実現するSSHや、ネットワークの集中管理・運用面においても安全性と利便性・運用性を両立するSNMPv3の暗号化・認証機能など、様々なセキュリティ機能をサポートしています。



# Appendix : キャンペーンのご案内など

---



# デスクトップスイッチ高速化キャンペーン

## 10Gマルチギガ対応！ファンレス！50℃対応！

無線アクセスポイントやIPカメラ等も高速化する昨今、デスクトップスイッチにも高速化が求められます。アップリンクは10G対応マルチギガでボトルネックを解消。

**4ヶ月限定！** お求めやすい価格で、10Gアップリンク対応デスクトップスイッチをご提供！

## AT-GS910/10XST

標準価格(税抜) **キャンペーン価格(税抜)**  
 ¥49,800 → **¥29,000** **42%OFF!**



## AT-GS910/18XST

標準価格(税抜) **キャンペーン価格(税抜)**  
 ¥59,800 → **¥46,000** **23%OFF!**

## AT-GS910/26XST

標準価格(税抜) **キャンペーン価格(税抜)**  
 ¥79,800 → **¥62,000** **22%OFF!**

■ Z5およびZ7型番もキャンペーン対象です

製品名	標準価格(税抜)	キャンペーン価格(税抜)
AT-GS910/10XST-Z5	¥57,300	¥33,400
AT-GS910/10XST-Z7	¥63,300	¥36,900
AT-GS910/18XST-Z5	¥68,800	¥52,900
AT-GS910/18XST-Z7	¥76,000	¥58,500
AT-GS910/26XST-Z5	¥91,800	¥71,300
AT-GS910/26XST-Z7	¥101,400	¥78,800

### キャンペーン期間：

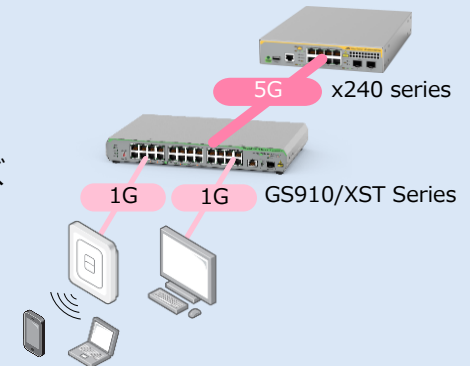
**2024/2/1～2024/5/31受注分まで**

(キャンペーン期間内の受注で、出荷はキャンペーン期間内での出荷が基本です。ただし、キャンペーン終了月の受注のみ、出荷は翌月末までになります。)

### GS910/XSTシリーズの活用例

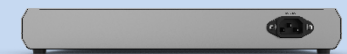
デスクトップスイッチまで10Gでネットワークを高速化

GS910/XSTシリーズは、アップリンクにマルチギガ対応10Gポートを持ちます。xシリーズとの親和性も高くx240シリーズとの組み合わせでCat.5eケーブルでも5Gで、エッジのボトルネックを解消します。



- ✓ ファンの音が目立つ  
→ **静音のファンレスモデル**

GS910/XSTシリーズは、すべてファンレスモデルです。ファンによる騒音がなく、消費電力も抑えられます。会議室や病院など、静かな環境に最適です！



2024年2月時点のキャンペーン情報です。

# 福春 FS980Mシリーズ スプリングキャンペーン

100Mに対応したL2+スイッチのFS980Mシリーズで  
**機能・納期・お求めやすさ**の3拍子揃った大キャンペーンを開催

**キャンペーン期間：**  
**2024/2/1～2024/5/31受注分まで**  
 (キャンペーン期間内の受注で、出荷はキャンペーン期間内での出荷が基本です。  
 ただし、キャンペーン終了月の受注のみ、出荷は翌月末までになります。)

**-標準価格より最大65%OFF-**



	標準価格(税抜)	キャンペーン価格(税抜)
AT-FS980M/9	¥ 54,800	¥ 29,800
AT-FS980M/18	¥ 71,300	¥ 39,800
AT-FS980M/28	¥ 85,600	¥ 49,800



	標準価格(税抜)	キャンペーン価格(税抜)
AT-FS980M/9PS	¥ 98,800	¥ 39,800
AT-FS980M/18PS	¥ 142,800	¥ 49,800
AT-FS980M/28PS	¥ 173,600	¥ 59,800

## 100Mでも豊富な機能

### L2+スイッチの豊富な機能

L2スイッチに求められるトラフィックのフィルター機能やACLなどのセキュリティ機能を十全に備え、さらに28ポートモデル以上はVCS(スタック機能)による冗長化にも対応します。

## 100点満点のお求めやすさ

### ギガスイッチの5割～8割程度の費用で導入可能

100M速度で十分な機器の集約であれば、同クラスの1Gスイッチに比べて5割から8割程度の価格で購入が可能になり、非常に高いコストパフォーマンスを発揮します。

## 他社には無い

### フルラインナップと潤沢在庫！

「24ポートや48ポートモデルしかファーストイーサネットスイッチが無くて使いにくい・・・」  
 そんなお悩みを払拭する8ポートに加え、Non-PoE・PoEモデルを揃えるフルラインナップ！本キャンペーン用に特別に在庫に準備しており、即納も可能です。

## ■ Z5およびZ7型番もキャンペーン対象です

製品名	標準価格(税抜)	キャンペーン価格(税抜)
AT-FS980M/9-Z5	¥63,100	¥ 34,300
AT-FS980M/9-Z7	¥69,600	¥37,900
AT-FS980M/18-Z5	¥ 82,000	¥45,800
AT-FS980M/18-Z7	¥90,600	¥50,600
AT-FS980M/28-Z5	¥98,500	¥57,300
AT-FS980M/28-Z7	¥108,800	¥63,300

製品名	標準価格(税抜)	キャンペーン価格(税抜)
AT-FS980M/9PS-Z5	¥112,700	¥45,800
AT-FS980M/9PS-Z7	¥124,500	¥50,600
AT-FS980M/18PS-Z5	¥164,300	¥57,300
AT-FS980M/18PS-Z7	¥181,400	¥63,300
AT-FS980M/28PS-Z5	¥199,700	¥68,800
AT-FS980M/28PS-Z7	¥220,500	¥76,000

2024年2月時点のキャンペーン情報です。

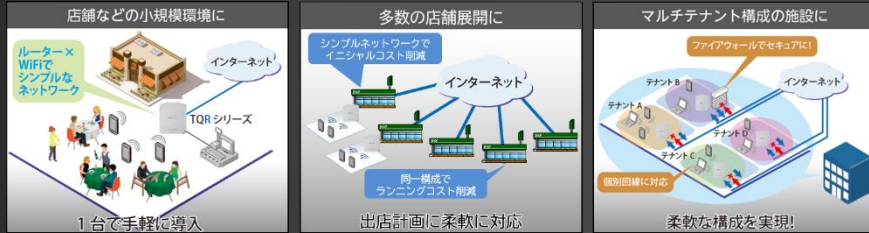


# 各種販促情報のご案内

## 新製品のご紹介(Wi-Fi6対応無線LANルーター)



- Wi-Fi6とVPNルーターの機能を1台で提供
- エンタープライズ向け機能を搭載
  - FirewallやダイナミックENAT、IPsec、VAP、Captive Portal、WPA3など各種エンタープライズ向け機能を搭載
- AMF Plusによる一元管理に対応
- 様々なネットワークに適用可能
  - 小規模ブランチオフィス、コンビニエンスストアやレストランなどの店舗向けのネットワークなど、様々なネットワークをAT-TQ6702 GEN2-R 1台のみでシンプルな構成を組むことが可能



AT-TQ6702 GEN2-R

## スイッチ製品協業ベンダーのご紹介

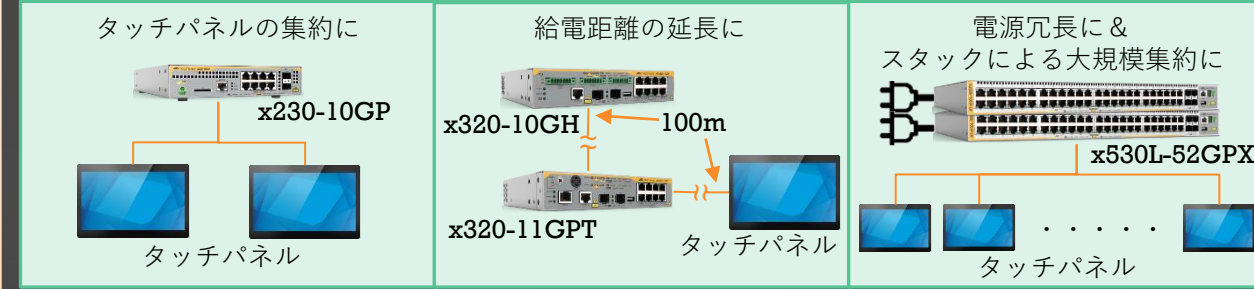
協業先：**タッチパネル・システムズ株式会社**

PoE対応タッチパネルと接続検証を実施！

検証機器：x530L・x320・x230・AT-7101GHTm

<https://www.allied-telesis.co.jp/news/newsrelease/nr230324.html>

### 想定構成例



## Allied Labのご紹介

で検索！

アライドテレシスの技術を製品担当が分かりやすく紹介。



...第十回目：Wi-Fi6対応アクセスポイント比較検証  
「失敗しないWi-Fi6選びの手引き」

...第十一回目：統合型ネットワーク管理ソフトウェア  
「AT-Vista Manager EXでNetwork管理者のお悩み大解決！」

...第十二回目：ネットワーク統合管理  
「ネットワーク管理の手間をごそっと削減！」

...他、多数！

## ビデオデータシートのご紹介

で検索！

製品の特長やユースケースなどを動画でご紹介します。



...PoE++対応マルチギガビットスイッチ  
x530L GHXm シリーズ紹介

...オール10Gレイヤー2スイッチ  
XS910/8 紹介

...マルチギガビット対応PoE++インジェクター  
AT-7101GHTm紹介

...他、多数！



ご清聴ありがとうございました



今回ご紹介しました弊社スイッチ製品に関して、別途個別に相談がございましたら、お気軽に弊社営業までお問い合わせください